

町民の声を町政に

毎議会で質問

これまでも
これからも

18歳まで
医療費無料化

何度も取り上げ
就学前から18
歳へ対象拡大。

敬老商品券

町内のお店で
使えて喜ばれ
ています

学童保育

保育園のママたち
と先進施設を学び
実現できました。

大洗駅に
エレベーター

人にやさしい駅にと
設置を働きかけ実現

戸別受信機

原発事故時の情報
手段に提案。今で
は町のお知らせに
役立っています。

防犯灯
無料化

町も積極的に
取り組みました

ゆるきやら
を提案

“あらいっぺ”
がPRに活躍し
ています

くらし支える提案

新おおらい

2023年9月号外
日本共産党大洗支部
大洗町大貫1525
電話・FAX 266-2694

昇悦しやうえつきくちきくち

日本共産党
大洗町議会議員



実現めざします

学校給食の無料化めざします

「ぜひ大洗町でも給食費無料化を実施してほしい」(アンケート) 県内でも広がっています。

空き家対策にとりくみます

雑草や虫など地域の悩みになっている空き家
問題の解決にとりくみます。

東海第2原発の再稼働に反対

「避難や老朽化を考えたら再稼働はありえない」
(アンケート)の声にこたえ反対をつらぬきます。

暴走族対策を進めます

町民も観光客にも迷惑な暴走族、取り締まりの
強化を求めます。

高齢者に補聴器購入補助

認知症のリスクを高める高齢者の難聴。全
国で広がる補聴器購入補助を大洗町でも。

憲法9条守り平和の世界を

大軍拡・大増税に反対し、憲法9条いかし
た平和外交を求めます。

実現
できました

町民・行政とともに
取り組み育ててきました

きくち昇悦の9月議会報告



戦争の恐ろしさ・悲惨さ

平和の尊さを学んだ

＝平和大使の感想＝

八月は、広島・長崎の原爆忌、終戦記念日などの過去の惨禍から、平和な未来を考える時期でもあります。

菊地議員は、中学生を平和大使として広島での平和祈念式典に派遣している平和教育や、町の団体と共催している原爆写真展などの平和行政を大いに評価しているとしたうえで、今年の平和大使派遣について、どんな感想が出されたかを質問。

「恐ろしさ」と

悲慘さ、平和

の尊さ」についてふれている。

また「これで終わりにせず学校、地域の皆さんに伝えていきたい」とも記されていると回答。

菊地議員は「子供たちが平和の懸け橋になろうとしている。その思いを感じた」と述べました。



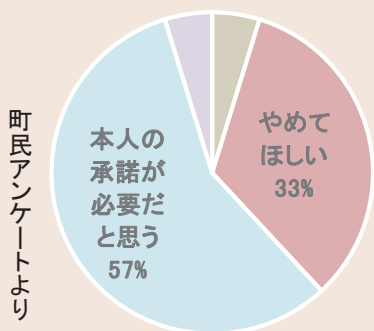
展示した戦争遺品

自衛隊への個人情報提供

除外制度を協議したい

菊地議員は、3月議会で質問した自衛隊への情報提供について再び質問。「私が行った町民アンケート。町が情報提供しているのを知っている人は一人もいなかった。90%近い人が反対している」(下図)として、改めて今年3月の報告者数の提示を求めました。

自衛隊への情報提供は



町民アンケートより

の時代に合わないので、やり方を考える「事を提案した。除外制度は、来年度協議・調整したいと答弁。

菊地議員は「やり方を変える提案は前進だが、除外制度ができたことを直接本人に通知するのが一番確実だ。対象人数から考えても数万円で出来る」と本人通知を提案しました。

強風でゆれる！ 一中グラウンドの鉄塔撤去を

「一中グラウンドの鉄塔が強風でゆれて危ない。撤去してほしい」との住民の声を紹介した菊地議員は、撤去費用と撤

去時期を町に質しました。

町は「高さ20mに対し地中に10m埋めてあり、強度はある」と答弁。

町長は「町民の不安解消が大事故だ。もう一回安全性を検証したうえで、住民に説明したい」と答弁しました。

町民保管の戦争遺品 収集・保管を

菊地議員は、今年の原爆写真展で町民の方が「戦争遺品を使ってほしいと持ってこられた。期間中に展示したが、保管はできないので返却した」との事例を紹介し「町が収集保管し、平和教育に役立てるべきではないか」と質しました。

町は「個人の所有物であり、寄贈の希望がある場合は県遺族会を紹介している。しかるべき施設が収集すべき」と答弁。

菊地議員は「博物館法が改正されたので、町の施設でも保管できるはず」と主張。

町は「写真展での展示は可能だが、遺品については慎重な審査が必要」と答弁しました。

トリチウム汚染水の放出

観光への影響は

菊地議員は「昨年9月議会では、反対している漁協と向き合ってたってしていくことを確認したが、被害は漁業だけではなく、観光にも影響が出るのではないかと影響を質しました。

町は「観光業者からの懸念する声はあがっていない。宿泊がキャンセルされたとも聞いていないので経過を見ていくというスタンスだ」と答弁。

菊地議員は「外部の人がどう見るかの問題で、影響は県の沿岸部共通の問題になる。共同で国に物申すことが必要だ」と提案。

町長は「今は出していないが、リアクションが出た時点で対処したい」と答弁しました。

菊地議員は「漁業者の意見もよく聞いて、町として積極的にかわってほしい」と主張し、質問を終えました。